



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

トピックス

平成21年度 森林・林業交流研究発表会を開催

11月12日、13日、近畿中国森林管理局大会議室において、日頃の創意工夫の成果を発表する森林・林業交流研究発表会を開催しました。

近畿中国森林管理局管内の署等ほか、市町村・高校生や団体等から合わせて18課題の発表があり、そのうち、7課題について局長賞等が授与されました。

各賞の受賞者は次のとおりです。

近畿中国森林管理局長賞(3点)

① 国有林GISを活用した森林管理 (フリーデータベース・Mobile Mapper を利用して)

三重森林管理署 上野 博幸



② 溪間工における放水路の磨耗対策について

石川森林管理署 信川 敬史、佐々木 哲平



③ 甦れ枯木 大作戦 (温もりある思い出を永遠に)

北桑田高等学校 勝山 理子、梅原 快斗
大西 莞司、杉本 奈奈重、山下 喜嵩



森林総合研究所関西支所長賞(1点)

カシノナガキクイムシによる「ナラ枯れ」の被害の推移と防除対策について

広島森林管理署 池上 豊

林木育種センター関西育種場長賞(1点)

銀閣寺山国有林におけるマツ林再生の取組
(大文字保存会との連携を中心として)

京都大阪森林管理事務所 城尾 あすか
大文字保存会 長谷川 綉二

日本森林技術協会理事長賞(1点)

携帯型GPSを用いた効率的な集材路管理

広島北部森林管理署 三上 英範

日本森林林業振興会長賞(1点)

都市部における森林整備のあり方について

(地域との連携を目指して)

兵庫森林管理署 古賀 高晃、中田 茂巳

森林ふれあい推進事業(イベントの実施)

【指導普及課】近畿中国森林管理局の「森林ふれあい推進事業」は、国有林等を利用して、森林散策、植物観察、林業や製材工場の見学や、植林・育林・木材加工・木工教室などの体験活動のイベントを実施しています。

平成21年度は、小学生向け「夏休み木工教室」「俵の藤太のムカデ退治で有名な近江富士登山」をはじめ、計4回のイベントを実施しました。

平成22年度も年4回のイベントを予定していますのでご参加宜しくお祈いします。



夏休み木工教室へ参加した小学生



近江富士の頂上をめざす参加者



大阪城の石垣の不思議



比叡山延暦寺の根本中堂で記念写真

地域ニュース

鳥取自然休養林でクリーンパトロールを実施

【鳥取森林管理署】晴天に恵まれた10月28日、鳥取市内に所在する旧城山国有林において、OF会の協力を得てボランティアによる「自然休養林クリーンパトロール」を実施しました。

この旧城山国有林は、昭和48年に自然休養林に設定されており、鳥取城趾、久松山(△263m)とともに鳥取市街地の背景にあって都市に潤いを与える風景林として親しまれているとともに、^{おおちだに}樽谿公園から頂上の太閤ヶ平までは保安林管理道が整備されていることから、森林浴、ハイキング、ウォーキングコースとして多くの市民が利用しています。

当日はOF会11名に職員8名を加えた総勢19名により、太閤ヶ平から樽谿公園へ向けて保安林管理道の清掃作業を行いました。数年分の落葉が堆積した路面や側溝の清掃は予想以上の重労働で、体力勝負の様相となり、参加者皆、森林浴や会話を楽しむ余裕もない中で黙々と作業が進められました。

全行程2.5kmを6時間にわたるといボランティアの域を超越する過酷な作業となりましたが、終了後には路面や水路の落葉が取り除かれ、見違えるほどきれいな状態になりました。

～ボランティアによる環境美化活動で国有林をPR～



作業風景



作業後

また、作業中には行き交うハイカーから「ご苦労様です」「きれいにして下さってありがとうございます」など多くの声をかけられ、鳥取市民から親しまれている旧城山国有林とそれを管理する森林管理署の取組を広くPRすることができました。

翌日、職場では筋肉痛を気遣う会話があちらこちらで聞かれましたが、OBの皆さんは大丈夫だったでしょうか…。

鳥取森林管理署では、美しく地域から親しまれる自然休養林とするために、引き続き関係機関やボランティア団体と連携を図り、環境整備等の取組を推進していきます。

関連ホームページ

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/tottori/>

いかるが 斑鳩の里 法隆寺古事の森」散策

【奈良森林管理事務所】11月21日(土)、社寺の修復に使う樹齢200～400年の木材を確保するために斑鳩町内の野山国有林に設定した、「斑鳩の里法隆寺古事の森」で、奈良県内や京都市、大阪市から参加した20人が、植樹したヒノキの生育状況を見ながら林内を散策しました。2～3メートル程の高さに成長したヒノキの生育を観察し、植樹にも参加した人からは、「4年程で大きくなるね」「私はこころを植えた」などの声が聞かれました。

また、古事の森に隣接して設定している檜皮採取対象林では、国有林に設定している世界文化遺産貢献の森林及び檜皮採取対象林と国内の檜皮の現状について説明し、参加者は熱心にメモを取りながら聞いていました。

午後からの、世界遺産に登録されている法隆寺では、管長から法隆寺の歴史についての特別講義と、金堂、大講堂、大宝蔵院、夢殿を見学し、国宝の仏像などを



古事の森林内を散策する参加者



法隆寺で使っている木材の説明を聞く参加者熱心に観察していました。

参加者は「地道な活動を続けて行ってほしい。下草刈りもまた協力したい。」等の感想が寄せられ、有意義な一日となりました。

関連ホームページ

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/nara/>

森とのふれあいスタンプラリー

【福井森林管理署】8月1日から実施していた福井森林管理署のレクリエーションの森である松原風景林、天筒山風景林及び鉢伏山野外スポーツ地域を巡る「森とのふれあいスタンプラリー」への応募を11月30日に締め切り、12月7日に抽選会を実施しました。

西福井森林管理署長が抽選を行い、56名（県外7名含む）の応募者の中から15名の当選者が決まり、賞品として図書券3000円分、南越前町内温泉施設共通優待券1枚を送りました。



この間、敦賀市、南越前町の協力を得て、各施設にスタンプを置いていただき、8月には、福井新聞や南越前町町民カレンダー9月号に記事が掲載され、県民の方々に広くお知らせすることができました。この結果、期間中に応募用紙が500枚さばけるなど、多くの方々に興味を持っていただけました。

参加者からは、「鉢伏山、天筒山からの景色のすばらしさを知る良いきっかけになりました。家族で出かけ楽しかった。」「地元の良さを再確認しました。」との嬉しい感想、「スタンプの場所がわかりにくいので、もう少しPRしていただくと助かります。」との指摘など、参考になるご意見を多数いただきました。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/hukui/>

こどもエコクラブで樹木観察会

【島根森林管理署】奥出雲町立まき馬木小学校で取り組んでいる環境活動クラブ「こどもエコクラブ・まき馬木っ子ふるさと環境探偵団」の樹木観察会が11月8日、同校を見下ろす愛宕山（通称サイレン山）を会場に、「秋の樹木観察会～秋のサイレン山を楽しもう」をテーマに開催されました。

愛宕山は同校のかたわらに登り口がある小高い丘でその昔、防災用のサイレンが置かれていたことから、地元では通称サイレン山と呼び、今回山の頂上までの歩道沿いに生育する種類ごとの樹木の特徴を学ぶことになりました。

当日は、昨年を上回る小学3年生から6年生の児童13名及び引率の教頭先生が参加。2班に分かれ横田森林官、本署駐在の管理官が約40種類の樹木の特徴を説明。ダンコウバイは「大きな葉脈が3つあり根元から分かっている」とわかりやすく説明すると、児童はニッコリ。イヌガヤの葉を手で握り「チャボガヤと比べたら痛くない」と樹木の特徴を五感で感じとっていました。

約1時間の観察を終え、いよいよ子ども樹木博士の認定試験を開始。試験は観察した樹木の中から20種類を選んでその樹木名を当てるものです。

葉を握り堅さを確かめる子、臭いを嗅いだりそれぞれ特徴を見極めながら解答用紙に書き込んでいました。



子ども樹木博士の試験にチャレンジする児童

試験結果から全問正解者はいませんでした。4級から初段までの級・段が決まり、認定書を授与しました。

最後に参加者全員から感想があり、「昨年よりも級があがり、うれしかった」「初めて参加したけどたくさん樹木が覚えられてよかった」など、素直な感想が寄せられました。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/shimane/>

にしどおりやま 西通山国有林（姫路市）で檜皮採取

【兵庫森林管理署】11月9日から西通山568へ林小班（101年生）で全国社寺等屋根工事技術保存会が檜皮の採取を行っています。ヒノキの樹皮を剥ぐ音が「パリ、パリ」と響き、荒皮が手際よくはがされ、その下の赤い皮が現れました。7・8年後に黒皮を採取する予定です。



檜皮を丁寧にぎ取る職人さん



国有林では、檜皮を安定的に供給できるよう「檜皮採取対象林」を設定。檜皮確保に協力し、原皮師の育成に貢献することを目的に実施しています。

兵庫署管内の国有林では、平成15年9月に鶏籠山国有林（たつの市）で初めて取組を行い、これまでも数カ所の国有林で実施しています。平成21年3月の甲山540い林小班（姫路市）に続き、今年2箇所目の採取となりました。

社寺の屋根に使用される檜皮は、採取が可能な対象森林が減少し、慢性的に不足している状況にあり、文化財保護にも貢献していきたいと考えています。

国有林兵庫県OF会が歩道整備を実施

【兵庫森林管理署】平成21年度の共生21実施メニューである「しそ天空回廊の歩道整備」による企画として、国有林兵庫県OF会が主体となった歩道整備が行われました。

紅葉が最盛期を迎えた11月20日、OF会会員6名が署員のサポートも受けながら、河原山国有林35林班内の穴栗50名山である「黒尾山」に至る歩道を整備しました。老朽化した丸太階段を新しいものに取り替え、歩道上に転がる石を取り除き、横たわる枯木を伐倒しました。



鎌を持ち一生懸命に歩道整備をする国有林兵庫県OF会

作業開始から3時間ほどで丸太階段ができ上がり、障害物も撤去されて、見違えるほど立派な歩道となりました。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/hyougo/>

職場体験学習を実施（県立熊野高校）

【和歌山森林管理署】11月11日から12日の2日間、県立熊野高校の2年生2人を対象として職場体験学習を実施しました。

これは、総合学習の一環として「勤労観・職業観」を育てることを目的に各職場を訪ね体験しているものです。2人はいずれも女生徒で、森林・林業は未知の

世界とのこと。



ポケットコンパスで林道を測量する女生徒

初日は収穫調査や間伐作業、2日目は林道のコンパス測量を体験しました。寒い中での実習でしたが、普段できない貴重な体験とばかりに一生懸命に学びました。最後は、2人の今後にエールを送り体験学習を終えました。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/wakayama/>

お知らせ

森への誘い（スライドショー）

近畿中国森林管理局ホームページでは、管内国有林の美しい風景や名勝、保護林、巨木などの貴重な動植物のほか、国有林における主な取組などをスライド形式で紹介してきました。

この度、管内すべての署（所）のスライドショーが完成しました。

是非、ご覧下さい。

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoku/mori-sasai/mori-sasai.html>

もり 森林のギャラリー（局庁舎1階）

平成22年3月上旬から平成23年3月末まで、近畿中国森林管理局庁舎耐震工事のため、「森林のギャラリー」は休館します。

つきましては、平成22年度の「森林のギャラリー」利用団体の募集を行いませんのでご了承ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>